

参加無料

中小規模事業場集団リスクアセスメント研修

1. 趣旨

リスクアセスメントは、作業に伴う危険性や有害性を見つけ出し、これを除去、低減するための手法で、確実に、効果的に労働災害を防止できます。

中小規模事業場にリスクアセスメントが円滑に導入・実施されるよう、リスクアセスメントに関する実践的な研修を実施しますので、是非ともご参加下さい。

2. 研修対象者

原則として、労働者数 50 人未満規模の事業場で安全衛生管理に責任を持っている方

3. 研修実施時期

2012 年 8 月～2013 年 1 月までの間、半日程度で 2 回受けて下さい。

4. 研修カリキュラム内容

[1 回目] リスクアセスメントの基本座学研修（3 時間30分）

科目	範囲	時間
リスクアセスメントの目的と意義、進め方	① 労働安全衛生法上の位置づけと指針 ② リスクアセスメントの目的 ③ リスクアセスメントの考え方 ④ リスクアセスメントの手順 ⑤ リスクアセスメントの方法 ⑥ リスクの低減対策	1 時間 30 分
リスクアセスメントの進め方の演習	① 危険源の特定、リスクの見積もり、評価 ② リスク低減措置の検討と実施	2 時間

次回研修までに
事業場内で実施

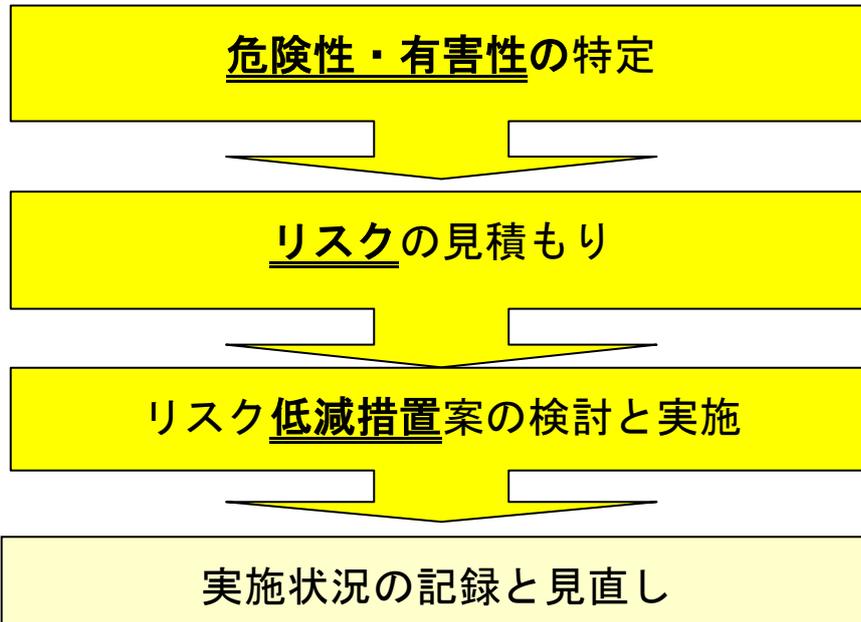
- ① リスクアセスメント実施体制の整備
- ② リスクアセスメントを安全衛生委員会等で審議
- ③ 作業現場を特定してリスクアセスメント実施

[2 回目] 演習中心の実践研修（4 時間）

科目	範囲	時間
自社で実施したリスクアセスメントの発表、評価	1 事業場 10 分程度で、実施方法と問題点、解決方法について発表、評価	2 時間
効果的なリスク低減措置の実施の演習と討議	リスクアセスメントを実施の上、効果的なリスク低減措置を行う演習課題を行った後、グループ討議を行う。	2 時間

リスクアセスメントを活用しましょう

○リスクアセスメント活用の手順



- 危険性・有害性**とは：けがや疾病の原因となるもので、建設物、設備、材料等又は作業行動等に起因するもの（例：機械の歯車、高所の開口部等）
- リスク**とは：危険性・有害性によって生じるけがや疾病の重篤度と発生可能性の度合い

[リスクアセスメントの活用事例]

作業名 (機械・設備)	危険性・有害性と発生のおそれのある災害	既存の災害防止対策	リスクの見積り			リスクの低減措置	措置実施後のリスクの見積り		
			重篤度	発生可能性	優先度		重篤度	発生可能性	優先度
三本ロールによる板金作業	可動部や回転体に巻き込まれ、負傷する。	服装点検、保護具の使用	△	×	Ⅲ	回転部に安全カバーを設置する。	△	○	I

[リスク低減措置の実施事例]

